



平成18年度CSI委託事業報告(領域2)

～XooNIps-Libraryモジュールの開発～



慶應義塾大学メディアセンター本部
五十嵐健一



KEIO 150
Design the Future



テーマ「XooNIps-Libraryモジュールの開発」

(作業内容)

- ・ XooNIps-Libraryモジュールの開発作業
- ・ XooNIpsの評価・改善に関する作業
- ・ その他作業
関連システムとの連携や、電子資料のタイムスタンプ認証等の
検証作業など



XooNipsとは

慶應の機関リポジトリKOARA (KeiO Academic Resource Archive)の
基盤となる基本システム

理化学研究所脳科学総合研究センターで開発されている

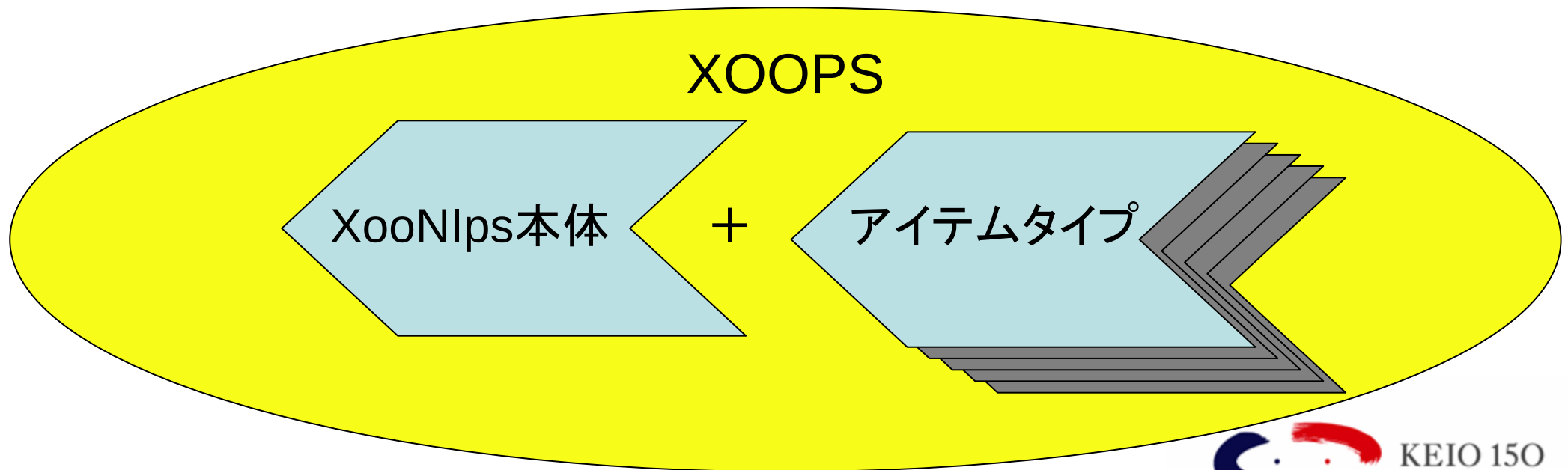
コンテンツマネジメントシステム(CMS)の一つである XOOPSをベース
として開発されもので、インターネット上で多様なデータの共有を図るNI
のためのデータベース基盤システム（[公式サイト](http://xoonips.sourceforge.jp/)※より転載）

※<http://xoonips.sourceforge.jp/>



XooNIpsとは

『XooNIps本体』と、 いろいろなデータを扱う『アイテムタイプ』を組合わせて利用するデータベース基盤システム





XooNIps本体とは

データベースの基本機能である検索やデータ管理などの全体を司る機能を持ったプログラム

その他にも、一件ずつのデータに特化しないOAI-PMHのクエリー処理機能や統計機能、インデックス管理機能などを持つ

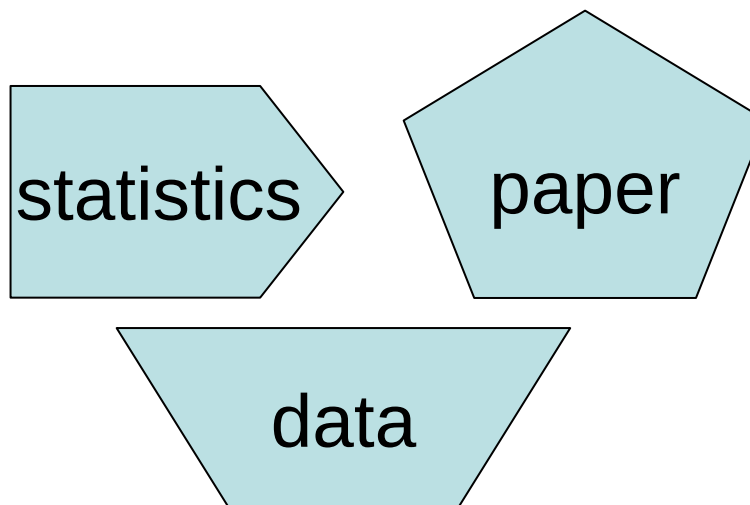


アイテムタイプとは

データ一件ごとに対するメタデータ項目や画面表示に関する処理を扱う追加モジュール

開発仕様は公開されており、既存のものを拡張したり、新規作成が可能

例えば



などが付属



既存のアイテムタイプでは

元々XooNIpsに付属しているアイテムタイプを検証したが、その中には十分であると思えるメタデータ項目を持つアイテムタイプがなかった

リピータブル可能な項目や複数の識別子なども欲しい

それぞれに対し、要望を理研にあげて対応してもらっては間に合わないし試行錯誤の作業が難しい



XooNIps-Libraryモジュールの開発

1アイテムタイプとして開発を行う(articleタイプ)

KOARAの試験公開時に理研の協力を得てプロトタイプを作成
その後、慶應、理研の共同で開発・公開を行うことに

MODSをベースにしたメタデータ項目を持たせる

オープン・ソース・ソフトウェア(OSS)として=ライセンスはGPL
開発はXooNIps本体と同じくsourceforgeにて

MODSをベースにしたメタデータ項目



ID		日付	出版年: 開始(yyyy)		目次	
タイトル	タイトル		出版年: 終了(yyyy)		キーワード(R)	
	カナ		作成日(yyyy-mm-dd)		分類: NDC (R)	
	ローマ字		更新日(yyyy-mm-dd)		注記	
別タイトル (R)	タイトル		記録日(yyyy-mm-dd)		言語(R)	
	カナ	形態 (R)		資源タイプ		
	ローマ字	タイトル		ジャンル		
著者(R)	名前 (ローマ字)	上位タイトル	(翻訳)		このアイテムを表示 する	画像(R)
	カナ		巻号			本文
	所属		号			URI(R)
	所属(翻訳)		年月次	(年)	アクセス条件	
	役割	(月)		最終更新日		
	外部リンク	ページ	開始	作成日		
	著者ID		終了	登録者		
	版		識別番号	ISSN(R)		アイテムタイプ
出版地		ISBN (R)		インデックス		
出版者	名前	DOI (R)		関連アイテム		
	カナ	URI (R)				
	ローマ字	その他(R)				
		抄録				



KEIO
Design

Copyright © 2006 Keio University



XooNIps-Libraryモジュールの公開

2006年11月XooNIps-LibraryモジュールVersion1.0を公開

- 公開前よりKOARAにて同モジュールを組み込み検証
- 公開時には慶應にて報告会を実施



XooNIps-Libraryモジュールの今後

2006年12月～XooNIps-Libraryモジュール次期Versionを開発中

- JuNii2フォーマットへの対応(β版のみ公開中)
- articleタイプだけではなく、photo、bookタイプを追加(検証中)
→その他に、website、data、video、soundを予定
- 最新版XooNIps version3.3(2007年7月公開)への対応を含めて、近日中に正規版公開を目指す



XooNIpsとXooNIps-Libraryモジュールの評価として、外部機関に依頼
その結果、問題や要望をフィードバックし、改善

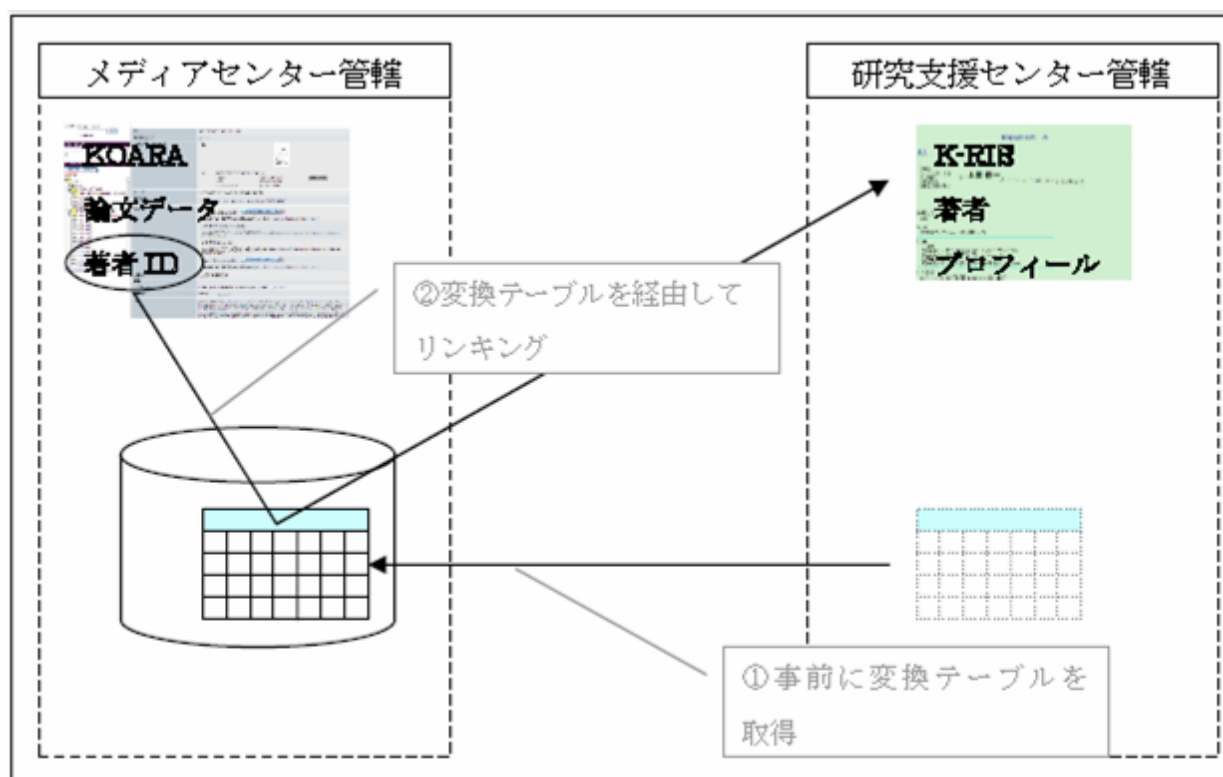
XooNIps本体に慶應で改造を行い、その改造部分のプログラムを理化学研究所にフィードバックし、次期公開バージョンに反映予定
(2007年7月2日公開の[XooNIps3.3](#)にて反映されている)
機能改善内容のうち、以下の点が成果として反映されている。

- OAI-PMH リポジトリの Set 対応
- 管理画面からのアイテム一括処理の追加
- アイテム詳細画面における URL の固定化

慶應義塾研究者情報データベース(K-RIS)との連携



慶應義塾の研究者について業績やプロフィールを公開しているシステムである。今年度はK-RIS の担当部署である研究支援センターとKOARA とK-RIS の連携について検討を行い、[KOARA](#)→[K-RIS](#) 方向でのリンクングについて試験環境における実装までを実現





- ・ 電子ファイル(PDF)のタイムスタンプ認証と長期認証の検討
- ・ KOARAと学内システムの連携([EJOPAC](#)、K-RIS)
- ・ リンクリゾルバ(ExLibris社 MetaLib/SFX)との連携

(参考資料) XooNIPS研究会の立ち上げ



データベース基盤システム



XooNIPS ワークショップのご案内

XooNIPS は脳神経科学分野のほか研究機関や大学の図書館データベース、機関リポジトリ、ラボ内のグループウェアなど様々な利用が進んでいます。この度、新バージョン「XooNIPS Version 3.30」をリリース致しました。

これを機会に XooNIPS の利用者と開発者の情報交換の場として XooNIPS 研究会を発足し、第1回ワークショップを開催する事になりました。このワークショップは多くの方々が XooNIPS の多様性と機能を理解し、円滑に利用して頂く事を目的としております。奮ってご参加下さい。

日時：2007年7月19日（木）13：30～17：00

場所：理化学研究所 RIBF 棟2階大会議室

ワークショップの詳細：<http://nijc.brain.riken.jp/>

参加申込み：上記 URL から参加登録出来ます（参加費無料）

主催：XooNIPS 研究会

理化学研究所脳科学総合研究センター神経情報基盤センター

【お問合せ】XooNIPS 研究会事務局（(独)理化学研究所 BSI 神経情報基盤センター内）

E-Mail info@nijc.brain.riken.jp



XooNIPS は理化学研究所脳科学総合研究センターが開発したデータベース基盤システムです。

(参考資料) ボーンデジタルとアーカイブのための 学会、出版社、印刷、メディアの連携

